

# Mugi ストローライフ岩倉

## SDGsの取組

取組・活動内容	<p>当団体は、麦を種まきから栽培し、出来た麦の茎を使ってストローを作っています。プラストックストローの代替品として、麦わらストローを提案することにより、マイクロプラスチック削減及び、環境問題を考える団体です。 また、麦を育てる場所は遊休農地のため農地保全も行えます。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 12	<p>麦わらストローの認知拡大。 ・つくる側：安心・安全な麦わらストロー作りを行う ・つかう側：煮沸消毒により麦わらストローは再利用可能となります。</p>	<p>SNS等を通して飲食店に提供、及び各種イベントにおいて配布を実施し麦わらストローの認知拡大をはかる 2025年までに45000本、麦わらストロー提供する</p>
	社会 14	<p>麦わらストローの普及活動により、マイクロプラスチックと呼ばれるプラスチックストロー削減により海洋汚染防止に一助となる。</p>	<p>麦わらストロー体験の実施。 2021年度は3回。 2023年までに麦わらストロー体験を6回行う。</p>
環境 15	<p>遊休農地において麦の栽培することにより農地保全を行うことができます。</p>	<p>遊休農地での麦栽培面積の拡大。 2020年現在100坪。2025年までに300坪に拡大 (100坪で約15000本の麦わらストローができます)</p>	